

共有図る

事業体が説明

日水協管理者協

- 田祝稔(衆)▽佐藤茂樹(衆)▽谷谷正明(参)▽樋口尚也(衆)
 榎屋敬悟(衆)▽魚住裕一郎(参)▽石川博崇(参)▽濱地雅一(衆)
 ▽竹内譲(衆)▽若松謙維(参)▽濱村進(衆)▽佐藤英道(衆)
 ◆会長▽古
 屋範子(衆)
 ◆副会長▽
 ▽大口善徳(衆)▽江田康幸(衆) (衆)▽中野洋昌(衆)▽河野義
 ▽高木美智代(衆)▽長沢広明(参) 博(参)▽新妻秀規(参)▽角田
 ▽秋野公造(参)▽西田実仁(参) 秀穂(衆)▽中川康洋(衆)
 ◆幹事長▽横山信一(参)
 岡本三成(衆)
 ▽伊佐進一
 ◆幹事▽
 (敬称略)

所属議員

進都市が事例発表を行
 、事例に関する意見交
 を通じて情報共有を図
 小発表を行ったほか、
 例の情報交換も行う
 小発表では、渡部座長
 はじめ、石垣佳邦高松
 上下水道事業管理者、
 木下秀夫福岡県南広域水
 道企業団総務部長、古尾
 谷光男神奈川県内広域水
 道企業団企業長が登壇。
 下水道への簡水統合、広
 域連携、料金体系の見直
 しに関する取組を紹介
 した。
 渡部座長は、松江市に



石垣管理者



渡部座長



古尾谷企業長



木下部長

おける下水道への簡易水
 道統合に関して、統合後
 は高料金対策繰入金がな
 くなるなどの課題が生じ
 ると説明。その上で、島
 根県市長会、日水協島根
 県支部など島根県内6団
 体が連携し9月に実施し
 た、総務省、厚生労働省
 に統合後の財政支援を求
 めた要望活動などの取組
 みを紹介した。
 石垣管理者は、香川県
 と県内14市町が設立に向
 けて協議を進めている広
 域水道事業体の検討経緯
 を提示するとともに、そ
 の過程で示された企業団
 による業務運営・組織形
 態、施設整備や水道料金
 に関する基本方針などを
 説明した。
 木下部長は、企業団の
 料金体系見直しについて
 発表。24年度まで責任水
 量制の体系を採用してい
 たが、自己水源の有無に
 より受水量が異なるなど
 構成団体間で不公平感が
 あるなどの課題があった

いた。委員交代に伴い副
 委員長に東京都水道局の
 今井滋給水部長を選任し
 たほか、WG6(アセツ
 トマネジメント)、WG7
 (クリシンスマネジメン
 ト)、WG9(意思決定
 支援システム)、WG10
 (トイレに流せる製品、
 WG12水の効率的利用)



長岡委員長

関係の原案作成作業を進
 めており、今後、最終原
 案の作成に入る。
 WG12では、水を利用
 する側において、再利用
 を通じた水需要の削減な
 どにより水の効率的利用
 を実現するための認証規
 格作成を目的としてお
 り、国内の民間企業・団
 体が国内外で事業展開す
 る際に取得を求められ、
 企業活動などに影響が生

信頼される技術を

飲料水研究 14題を発表・報告



奥村会長

全国給水衛生検査協会
 (奥村明雄会長)は11月
 19、20日の2日間、東京
 ・大田区の大田区産業プ
 ラザP10で平成27年度
 全国飲料水検査研究発表
 会を開催した。会員検査
 機関のほか、事業体職員
 など約100人が参加す
 る中、国立感染症研究所
 の遠藤卓郎名誉所員によ
 る特別講演、全国5支部
 から12題の調査・研究発
 表、飲料水検査試験法検
 討委員会から2題の報告
 を行った。
 遠藤名誉所員は「クリ

ため、基本料金と使用料
 金の2部料金制に見直し
 たことを説明した。
 古尾谷企業長は、企業
 団、神奈川県、横浜市、
 川崎市、横須賀市がそれ
 ぞれ実施してきた水質検
 査などの業務を一元化し
 た広域水道センターの開
 設をはじめ、その背景に
 ある神奈川県内水道事業
 検討委員会が提言した県
 内事業体による施設共同
 化、広域化などの構想を
 説明した。
 情報交換では▽基幹幹
 路等の耐震化を推進する
 ための財政支援(提案部
 市▽松山市)▽資金運用
 (同▽松江市)▽公営企
 業債の償還年限の設定
 (同▽大阪市)の
 3題について意見交換を
 行った。
 研究発表では、水質検
 査の信頼性確保に対する
 取組むをはじめ、浄水処
 理対応困難物質の分析方
 法、LC/MS/MS直
 接注入によるフェノール
 類分析方法、水道水中の
 ジチオカルバマート系農
 薬類の分析方法の検討な
 どについて報告があっ
 た。
 飲料水検査試験法検討
 委は「蒸発残留物測定
 の代替法としての電気伝導
 率測定の検討」「LC/
 MS/MS法による水道
 水中の臭素酸分析の検
 討」について報告した。
 開会に当たり、奥村会

仮設配管レンタル といえば
 仮設配管から給水装置までトータルサポート
 リユースシステム といえば
 REUSE SYSTEM

防蝕塗装のエキス
 エポキシ樹脂・ナイロン11 長さ 400
 ポリエチレン・粉体塗装及び 高さ 200
 樹脂コーティング加工
 日本水道協会検査工場
城北工業株式会社
 工場 〒349-1148 埼玉県加須市豊
 TEL 0480(72)6767 FAX 0